



受付日：平成28年6月6日
 受付番号：HP16-KT057

接合部性能試験成績証

試験結果は以下のとおりであることを証明する。
 2016/7/20

東京都港区芝5-3-3
 徳栄ビル本館4階
 ハウスプラス確認検査株式会社
 代表取締役社長 川股孝志



1. 接合金物名称	2×4用大引き受け金物 TOB-404
2. 試験依頼者	株式会社 タナカ 〒300-4111 茨城県土浦市大畑702-1
3. 目的	① 枠組壁工法建築物の大引き端部接合部の「基準許容応力」及び「基準終局耐力」を試験により評価する。 ② 「基準許容応力」から「降伏耐力」を算出し、「基準終局耐力」との比較結果より、「長期許容耐力」を確認する。
4. 試験内容	大引き端部接合部(梁-梁型)のせん断試験 なお、準拠する試験方法、評価方法は2007年枠組壁工法建築物構造計算指針による。
5. 試験体仕様	<p>1) 接合金物</p> <p>「2×4用大引き受け金物 TOB-404」 1個×2箇所 材 質：降伏点560N/mm²以上、引張強さ570N/mm²以上の鋼材*1 寸 法：(外形)150mm×87.6mm×57.6mm 釘用孔：10-φ3.6 板厚t=0.6mm</p> <p>2) 接合具</p> <p>大引き側：「太めくぎ ZN-65」 4本×2箇所 材 質：SWM-N(JIS G 3532) 寸 法：L=63.5mm 胴部径φ3.33mm 頭部径φ7.14mm 表面処理：HDZ A(JIS H 8641)</p> <p>土台側：「太めくぎ ZN-65」 6本×2箇所 材 質：SWM-N(JIS G 3532) 寸 法：L=63.5mm 胴部径φ3.33mm 頭部径φ7.14mm 表面処理：HDZ A(JIS H 8641)</p> <p>3) 枠組材料</p> <p>大引き：89mm×89mm×81mm Hem-Fir(N) 含水率：10.5～12.5% 全乾密度：0.49～0.52g/cm³</p> <p>土台：89mm×89mm×900mm Hem-Fir(N) 2本 含水率：10.5～13.5% 全乾密度：0.45～0.51g/cm³</p> <p>*1 試験ではNSDC570(新日鐵住金製)を使用した</p>
6. 試験条件等	土台の固定方法は、鋼製スペーサーによる2点支持とし、支持間隔を600mmとした。また、側面を大引き芯から両端側にそれぞれ350mmの位置でM16ボルトと角座金W9.0×80を用いて固定用治具に強固に緊結した。 (試験結果は接合部1箇所あたりの数値を示す。)
7. 試験結果	基準許容応力 4.58 kN、長期許容耐力(250年相当) 3.43 kN (詳細については接合部性能試験報告書に示す。)
8. 試験場所	ハウスプラス確認検査株式会社 横浜第二試験所：神奈川県横浜市鶴見区矢向1-1-1 10番
9. 試験実施日	平成28年6月9日
10. 試験実施担当者	ハウスプラス確認検査株式会社 評定部 家納 吾郎 道場 信義 千葉 博 加川 啓介 宇山 善博 所 義登

この接合部性能試験成績証を転載するときは、必ず全文を記載してください。